

<b>学校教育目標</b>	「ふれあい 学び合い みとめ合う みどりっ子」				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基礎基本を大切に、共に学び高め合おうとする子どもを育てます。(知)</li> <li>○ 自分のよさを発揮し、他の人との違いを認め合うことができる子どもを育てます。(徳)</li> <li>○ 心と体を鍛え、自分が他の人の生命を大切にできる子どもを育てます。(体)</li> <li>○ わたしたちのまちを大切に、共に生きる子どもを育てます。(公)</li> <li>○ 社会の変化に対応しながら、よりよい環境を考えて行動できる子どもを育てます。(関)</li> </ul>				
<b>学校概要</b>	創立 41 周年	学校長 能城 順一	副校長 津守 逸実	2 学期制	一般学級: 25 個別支援学級: 6
	児童生徒数: 888 人		主な関係校: 鴨居中学校・竹山小学校		

<b>教育課程全体で育成を目指す資質・能力</b>	<b>中ブロック</b>	<b>小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組</b>
< 問題発見・解決の能力 > 鴨居中学校ブロック < 自分づくりに関する力 > 緑小学校	鴨居中学校 緑小学校 竹山小学校	自ら進んで学ぶ児童・生徒 ・「問題発見・解決の力の指導法の工夫」を鴨居中ブロック合同授業研のテーマとし、各教科・領域においてテーマを意識した研究討議を行う。(6月、9月) ・児童生徒理解をさらに深めるために、情報交換会を行う。(8月) ・小中合同の学校保健委員会を開催し、小中が連携して同じ取組を行う。(6月、1月)

<b>中期取組目標</b>	○「ありがとう」をキーワードとした周囲への感謝の心を育む教育を基盤として、全ての教育活動を進めていきます。○だれもが、自分が認められているという安心感のある学校・学年・学級づくりを実現します。○学ぶことの楽しさを実感し、自ら問題を発見し、主体的に問題解決に取り組むことができる授業づくりを推進します。○「ひと・まち・もの」とのふれあい、関わりを大切に、お互いに支え合い、お互いのよさに気づく心の成長を図ります。○家庭・地域・関係機関との交流・連携を深め、共に子どもを育てていくことのできる開かれた学校づくりを進めていきます。○教職員全員が学校運営を意識し、学年力向上と児童支援専任を中心とした組織的な児童指導体制の確立を進めていきます。
---------------	--

重点取組分野	具体的取組
<b>生きてはたらく知 問題発見解決能力</b> 担当 教育課程委員会	①学習計画表や学習カードによってふり返り、見通しを持つことで、児童がより主体的に問題に気づき、目標設定できるようにします。 ②児童が友だちと意見の交流や共有をしながら、解決を探るような授業展開の工夫をします。
<b>生きてはたらく知 読書活動推進</b> 担当 図書部	①学校司書とのさらなる連携により、活用できる資料や調べ活用への支援の機会をさらに増やし、児童が図書資料の活用等を幅広く行えるようにする。 ②全校の取組として「朝読書」「おはなし会」を位置づけて継続的な読書活動・読み聞かせを行い、児童が興味関心のある図書の選択をし、すすんで読書活動を楽しむことができるようにします。
<b>豊かな心</b> 担当 道徳部	①担任が、学年内交流を通して、他のクラスとのつながりを築き、子どもたちの良さを見つけます。 ②クラスで感謝の気持ちを育てるために、互いに話し合い、認め合う機会を設けます。
<b>健やかな体</b> 担当 体育部	①接触、密を避けた運動として、短なわに全校で取り組み、なわとびカード、なわとびデーの導入により、子どもたちが自分の力に応じて、楽しく体を動かす活動に取り組めるようにします。 ②規則正しい生活する姿勢を培うために、より家庭と連携した食育、保健教育を実施します。
<b>児童指導</b> 担当 児童指導部	①児童支援専任を中心として、ブロック担任・学年チームと、組織で対応する児童指導の体制を確立させていきます。 ②年間生活目標に「すすんであいさつしよう」を掲げ、教職員が率先してあいさつします。また、児童代表委員会をさらに充実させ、あいさつ運動を推進します。
<b>特別支援教育</b> 担当 特別支援教育部	①一般学級と個別支援級・特別支援教室の連携強化に向けて、情報収集と発信を相互に積極的に行い、環境整備を進めます。 ②特別支援コーディネーターを中心に児童一人ひとりの特性や障害の状態に応じた指導内容や指導方法を組織的に検討し、計画的に進めるために研修会を開きます。
<b>いじめへの対応</b> 担当 いじめ対策委員会	①子どもや職員のいじめに対する意識を向上させるとともに、年2回のいじめアンケートと子ども一人ひとりに教育相談を実施し、いじめの未然防止・早期発見・解決につなげます。また、6年生は中学進学に向けてスクールカウンセラーとの教育相談の実施を行います。②教科分担任・交換・合同授業等を通して、引き続きブロック担任等を含めた学年力の向上を目指し、子どもを見守る複数の目でのいじめを見逃さない体制づくりを確立していきます。
<b>人材育成・組織運営</b> 担当 教務部・メンター	①「学年力向上」のために、教科分担任・交換授業・合同授業等を実施し、指導方法を共有していきます。学年担任とブロック担任が全児童を把握し、各クラスの状況を共通理解した上で学年経営をしていきます。②専科・級外の教員は「ブロック担任」として担当学年に所属し、学年事務を分担したり、授業補助を行ったりして学年経営に参画します。
<b>働き方改革</b> 担当 教務	①「教職員の業務内容」について更に見直し、午後の業務時間の確保を目指します。 ②残業時間を減らしたり、定時退勤を推進したりします。